

■明星学園
創立 40 周年



も く じ

あいさつ 明星学園 理事長 市村寅之輔 2

小・中・高等学校長 上田八一郎 3

明星学園のあらまし 4

明 星 の 教 育 6

▶誕生ものがたり《遺稿》 照井猪一郎 10

■写真■ 明星学園40年のあゆみ 11

明 星 学 園 小 史 15

教 育 体 系 一 覧 16

研究活動の概況 17

▽ 研究紀要その他 20

△ 表 東京都の助成金による研究物 21

振興事業経過報告／工事計画表 22

明星學園



ごあいさつ

明星学園 理事長 市村 寅之輔

創創立して40周年、教育に課せられている使命の、悠久性から数えると、40年は決して永いものではありません。明星はやっと40年になったばかりです。謙遜しているわけではありませんが、悠久の使命から考えますと、全く暇の一回転に過ぎない歳月です。しかし今日までの歩み、教育内容のディスカッスに基く積み重ねには、並々ならぬ苦労が包まれてあったことが思われます。今日以降も、この複雑な社会情勢の中での児童、生徒の教育は、平坦な道とは考えられません。さらに峻しさが加わりましょう。殊に敗戦後の自主性の足りなかった国情の中で、良心のある教育者達には、背負い切れない悩みに悩んだでありますし、未だにその尾を曳いていると見られる面が多々あるようです。

その中で明星として、あえて誇らしいことをいえば、建学以来、右顧左弁することなく自信をもって自分達の道を歩んできたことです。今後もそうあらねばならないのです。教育者が左右をためらっては、前向きに児童、生徒に相對する事が不可能です。事あたらしく人づくりだの、道徳教育だのとお題目を唱えるような学校であり、教師であらせたくないのです。教育内容の充実と、それにふさわしい教師とが、手を携えて一步一步進んできたのが建学以来の一貫した明星教育であったのです。そうしたことが、自主自立、自由平等、個性尊重の明星のモットーに育まれた児童生徒たちが、年々上級学校、社会に送り出されているのです。

教育に対する定義なるものは、一言にいいあらわせません。しかしながら、人間教育の基礎は何であるかと申せば、社会生活において自分の根性を持った人間づくりであることです。和して同ぜずとでも申しましょうか。明星はこうした教育を今後も続けるのです。

愛する子どもたちを信頼して托する、このすばらしい学園の一大飛躍を願うことは、現在のわれわれ役員に与えられた使命と考えています。

皆様の今日までの、惜しみなきご支援を感謝するとともに、今後の後援をお願いする次第です。

明星学園
中・小・高等学校長 上田 八 一 郎

大正12年に、1年、2年、3年の3学級あわせて男女21名と、4人の教師（赤井米吉、照井猪一郎、照井ゲン、山本徳行）で、小学校を開校いたしました明星学園が、この五月、創立満40年の記念日を迎え、今日では中学校、高等学校をもち、児童生徒も1500名の学園に発展しました。

この学園が個性尊重・自主自立・自由平等の基本理念のもとに、学習も訓練もその他一切の教育活動が、この根源からこんこんと流れるおい、しみわたっていきました。この教育の燈火は、今日においてもかわらぬものであります。

公立の画一的教育にあきたらず、つねにこの教育の燈火のもとに、大きな発展をとげましたのも、ご父兄の惜しみなきご支援と、歴代の役員の方々や、かげの後援者の茶郷基氏、山之内兵十郎氏、井野正次郎氏などの力ぞえの結果と存じます。

この機会に、心から感謝の意を表します。

新時代の教育——とりわけ私学としての特色を発揮する熱意と、創意を傾けて日夜の授業にとり組んでいる先生方の、一段の努力を願うとともに、ひたむきに前向きの努力をしていく覚悟でございます。

■校 外 施 設

海の寮 明星学園千倉寮（建坪 380m²）（借地約 15,000m²）

千葉県安房郡千倉町瀬戸海岸

山の寮 明星学園沓掛寮（建坪 400m²）（敷地約 8,300m²）

長野県軽井沢町沓掛

明星学園清里寮（建坪 未定）（敷地約 19,800m²）

—40周年記念事業—

山梨県北巨摩郡清里

■卒業生と現在児童生徒数

	（卒業生数）	（現 在 数）
小 学 校	2 0 8 3	5 0 4
旧 女 学 校	4 0 3	—
旧 中 学 校	3 9 8	—
中 学 校	1 7 9 8	3 5 7
高 等 学 校	1 7 4 0	5 8 5



■ 明星の教育



標 語 強く、正しく、朗らかに。
自主自立、自由平等、個性尊重。

目 標 明星学園は人間愛の精神に基き、社会のすぐれた形成者としての知性と、能力ならびに品性を養う。

指 針

1. …個性を尊重し、創造力を養う。
2. …合理的な思考力を養う。
3. …豊かな情操をつちかう。
4. …健康な身体をつくる。
5. …男女の正しい理解に立つ協力を求める。
6. …生活を通して勤労の意義を体得させる。
7. …自主的生活の体験により、民主主義への確信を持たせる。

1. 教育基本法・私立学校法に拠って普通教育の課程を進めている旧憲法下においては、教育の進歩といったところで、その土台自体に、基本的な抑制が働いているので、実施面においてはどうしても、末節的な技術操作のやりくりで終始する傾向があった。新憲法下になって、一応そうした絆が解かれたので、当学園においては、年来の宿志を果たしていける機運に際会したわけである。

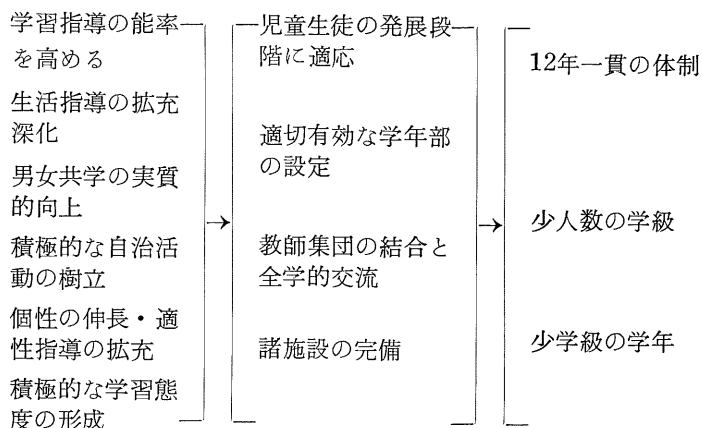
2. 明星教育推進のために

教育活動の拡充発展に、飛躍的な段階を画そうとして、前述の校舎の、全面的増改築設備の刷新を企図した。

(創立45周年～昭和44年を目指し教育振興事業は進んでいる)



3. 明星学園教育の努力点と体系



1) 教師集団の結合・全学的な交流

小・中・高のセクト化、教師の独走、教科毎の封鎖主義等は、よく世上に見受けられる事であり、それは教育上大きなマイナスであることはいうまでもない。しかし、一般にはほとんど解れることをタブーとされている問題である。

当学園は全体のワク内で交流配置を行ない、すべての組織も活動も、全学園的規模において進めている。いわゆるガラス張りの学園であることをほこりとし、願いともしている。

これによって児童・生徒・教師・父母の全学一体化が成立し学習指導・生活指導において、12年間の過程を通して、空白や、密度の不均衡等がないように実施している。

2) 12年一貫の体系で

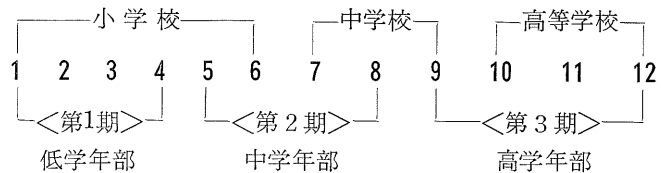
12ヵ年を通したひとつの学習の場であることは、教師・児童生徒の、共に選びとった大前提である。

しかもそれは、青少年期の人間形成の上で、特にその知育・徳育・体育の基本をつくる重要な意義をもつ、好ましい体系でもある。これにあえて、小・中・高と境を設けて遮断することには、いろいろの支障が生じてきた。それで、学園では

前表左側に掲げた諸々の意図のように、その一貫性の上に、適切な指導をする必要があると考えられるようになった。

3) 学年部の設定

さて、12年の就学期間を縦に眺めるとき、その知的発達、情操的成長・身体的発育等の面から、学習指導上有効な学年部の設定を必要とする。それを33年以来、つぎのような段階によって実施するに至った。



4) 少人数定員制・少学級の学年編成

— 個性の観察と伸長・個別的能力の診断と助長～(適性指導・生活指導)— 個別的な観察とそれに応じた指導、他面社会的、集団的な生活行動の指導は、盾の両面として、教育上必要な条件である。それに対して教師の能力の限界は、1学級30～40名ぐらいが適度と考えられる。多量生産を目指す学校企業の形態は当学園としては絶対にとらないところである。一学年の編成もそれと軌を一にして少学級制をとる。1学年の学級は3乃至5の程度に抑えておくようにしている。

5) 学習の能率を高める

教育内容の設定に当っては、12年一貫の上で、近代的生活人としての人間的資質を保証する教科と、生活指導上の体系をうちたてる努力に懸命である。そこに学園独自のカリキュラム・学習書(教科書・参考書)・学習施設が着々と整備しつつある現状がある。

指導能率を高めるためには、何よりも教師の周到的準備と、すぐれた授業手腕によって、児童生徒自身の積極的な意欲を盛り上がらせることが根本的な問題である。そのため、教育

研究・授業研究の日常化がおこなわれている。

また、家庭との提携・生活指導等にも、細心な配慮を怠っていない。

低学年部では、学習集団の基礎づけ、中学年部では、5・6年（前期）から、専科制の可及的な加味・高学年部においての、適性別コースの設定等が研究され、逐次実現化されている段階である。なお、研究・実践に科学的検討を加えるために、父母の中から、あるいは学園外の学者・研究者をもって教育研究協力者集団を組織して、協同研究を進めている。

6) 生活指導の拡充深化

生活指導の徹底化は、単なる訓辞や戒告で事足りるものではない。何よりも教師生徒間の密接なつながりをもとに、生徒相互間での批判や誠め合い、家庭との連繫、科学的な調査、発達段階に対する考察理解等によって、総合的に成り立つものである。4・4・4の学年部の設立、全学園的な教師の交流等の基盤の上に、児童生徒の成長・発達についての継続的観察をし、指導の適切をはかるようにしている。

なお、現行では5年以上が集団宿泊生活をやっているが、これは生活指導面（個人的な生活態度の観察や指導・社会的集団生活の指導等）において大きな役割りを果たしている。

7) 自学＜究研＞態度の樹立

教育界の現実には、盛りたくさんな宿題や、矢つぎ早な試験などで追い立て、やむなく自習せざるを得ない、という状態から自学自習への意欲を喚起する方法が多く探られている。これに対しては、世上一般でも決して最良の方法だとは考えていない。

当学園は、適性な考察判断の上に立ち、必要観の自覚、興味の喚起などによって、積極的な意欲の盛り上げを軸として、この態度づけをしている。この方針で進めることは、現実面において、ややもすると生ぬるい欠点を伴うから、個別的な観察指導を計画的、かつ継続的におこなって、徹底をはかることにしている。

大正13年2月29日、むさし野はまだふかぶかと冬のとばりの中に眠っていた。

霜柱にふくれ上った麦畑を、一足一足かみしめるようにきざんで行く4人の一団があった。一行は、ぼくぼくの黒土の上を、とりつかれたもののようにむさぼり歩いた。

畑中の小高い一地点に最後の歩みをとめた一行は、やおらかついで来た一本の標木をうち立てた。「明星学園建設地」……したたるような墨あとが、あざやかに白木のおもてに読まれた。

彼等はそれをかこんで、一せいに大空をふりあおぎ、さて思い深げにまわりの森や林をながめまわした。誰からともなく無言のほほえみがかわされた。

大海の底のようにしずまりかえったひとときだった。ま昼の太陽は真珠色のスポットを、この謙虚な開拓者たちの上におとした。

輝く日光、すみきった大気、ゆたかな土壌、それは彼等の久しく憧れていた求道の聖地だった。

池近く富士遠き森の台地——彼等はこの日この地に真教育の精舎の石づえをすえた。

この4人は、明星学園の創立者赤井米吉と照井猪一郎、山本徳行照井げんの全同人で、この時この仕事を援けた育ての親は、茶郷基氏というかげの人であった。

大正13年5月10日、明星学園開校の式典は入学式を含めて行われた。あいにくの雨を半ぶきの屋根はしのぎかねて、式壇はぬれるにまかされた。参列の子ども達の、親達の、来賓の頭から頬をつたって雫は床をぬらした。でもみんなの顔はかがやきにあふれていた。

校地は緑にかこまれた1千余坪の畑地、校舎といってもそれは、109坪のほんのブラックぶしん、集った児童は1年2年3年の3学級あわせて男女21人——これは明星学園発祥の種の起源であった。

併し将来への計画は既に構想されていた。1学級の定員を30名とし、中学校、高等女学校を延長の上におき、男女共学をたて前とした。……

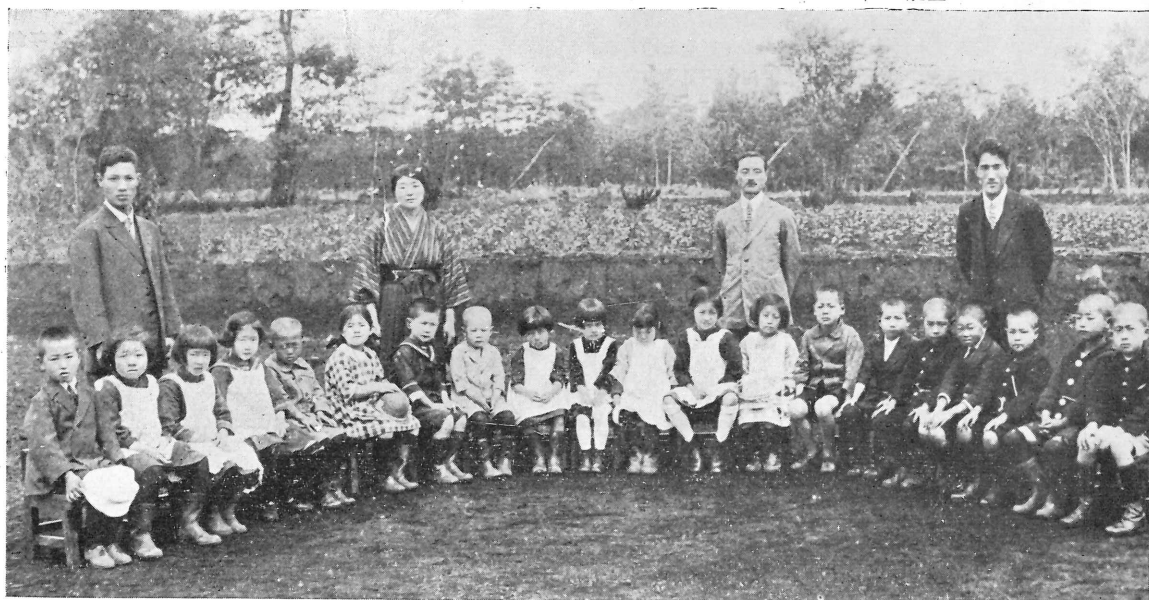
明星学園

40年のあゆみ

創立のころ



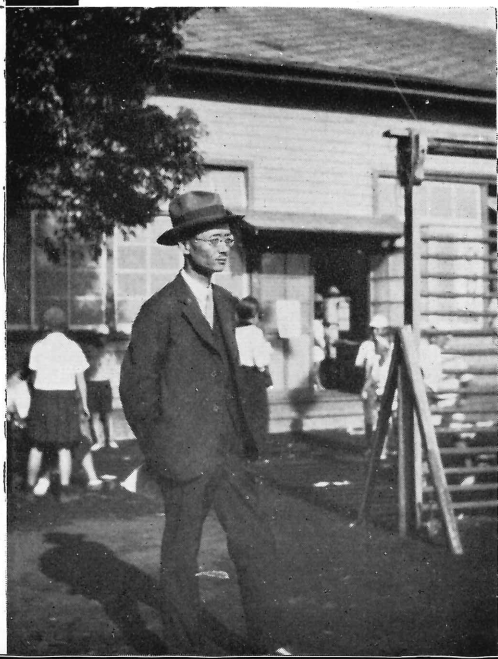
創立当時の照井ゲン、赤井米吉、山本徳行、照井猪一郎の諸先生
集まった児童は1年、2年、3年の3学級あわせて男女21人——
これは明星学園発祥の種の起源であった……“誕生ものがたり”より



創立10年代

昭和12～3年頃の明星学園小学校と女学校

昭和8年10月 運動会を観戦する上田先生



創立当時の旧中学校校舎（昭和3年創立）



創立 20 年代

昭和15年4月入学の一年生



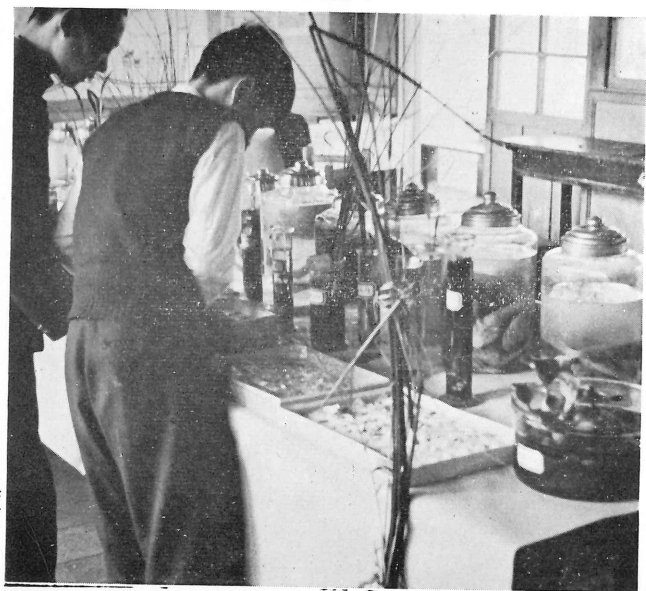
模型機づくりに懸命だった昭和17年ごろ



創立30年代



昭和37年 高原での中学生たち
昭和31年 高等学校の生物部展で



昭和39年 校舎の前で遊ぶ小学生



■明星学園小史

■大正13年5月15日／明星学園小学校設立（生徒数・21名）

創立同人／赤井米吉・照井猪一郎

照井げん・山本 徳行

教育の自由と自主性に立つ人間の形成を基調に、新しい学校像を求めて発足した。

■昭和3年4月5日／明星学園中学校、同高等女学校設立。同人に上田八一郎参加。

■第2次大戦の激化に伴い、中等部生徒は工場に動員され、校舎は軍需工場化する。その間企業統制と並行して精神統制の強化により、私学（特に小学校）の存続は危殆に頻する（官公立への吸収の動き）

■全東京の小学校は集団疎開、中等学校は縁故疎開の勧奨を受け、非疎開者への授護と教育は、全く保証の外となる。本学園は縁故疎開を主とし、空襲下に残留組を守って、基本学習の持続と、児童生徒の生活に明朗性を持たせるための努力をつづける。

■校舎は荒廃したが、他に大きな事故もなく終戦を迎える。

■終戦後までに判明した戦死者（卒業生）は29名を数える。

■昭和22年4月／新制中学校に改まる。

■ “ 23年4月／新制高等学校に改まる。

教育基本法は、多年それを待ち望んでいた私学人にとって、夢の中の声かと疑われるような明るく解放的なひびきを与える。本学園としては、創立当初からの宿望であった一貫教育体制実現男女共学完全実施の可能性をつかむ。

■昭和23～4年／教育基本法と、本学園建学以来の校是との対照吟味の上に、基本的には同じ歩調であることを確認し、新しい情勢への展開を構想してその設定をする。

■昭和29年～33年／創立30周年に当たり、全園校舎設備の全面的増改築の緒につき、33年度までに、一応小・中・高普通校舎4棟を竣工する。

同じ年、一貫教育体制の強化策実施開始。

世上「明星の4.4.4制」と称している。

■昭和37年～39年／体育館・特別校舎完成、明星学園後援会結成。現在、中学校校舎（4階建・16教室）を建設中。

■教育体系一覧

＜尚検討を続けている＞

学年部と教育課程の基本

▶低学年部（1～4年）

認識発達の段階に応じた指導基準を軸とし、子ども達の多面的活動的な生活実態を尊重し、総合的学習から、漸次系統性、分化性を持たせた学習へと進め、基礎学力をつける。

《前期》1～2年

生活単元に立つ総合的な学習により、創造性・活動性・集団性の基礎を養う。

《後期》3～4年

音楽体育などは専科制を加え、現実生活に立った思考力をのばすための基礎学力を養う。

▶中学年部（5～8年）

各教科の特質に応じ、その独立性と系統性を明らかに、専科制を加える。

《前期》5～6年

社会的集団性を組織的に進め、その中で創造性論理的思考力を養うことを根幹とする。

《後期》7～8年

今までの基礎の上に、さらに学習態度の高度化・自主化を拡充して、基礎学力の整備と充実に主力を注ぐ。

▶高学年部（9～12年）

生徒各自の能力・個性・進路を考慮した適性コースを設定し、勉学の努力と、研究の自由を助け、将来の志望を達成するため、やや専門的な学力を身につけ、充実させることに主力を注ぐ。

《前期》9～12年

適性コースに基いた指導を充実させる。

《後期》11～12年

進学・進路をも加味したコースを設定し、将来の志望達成の自信を養うよう、学力・能力の発展と充実を期す。

研究活動の概況

注・(小)(中)(女)…小学校,
中学校, 高等女学校のこと

▶初期 <明星創立初期から戦前まで>

成城学園のカリキュラムを基にして、よい自由な立場で、国定教科書中心のカリキュラムの改造を試みた――。

(小) 国 語…学園編さんの新読本(1～5巻)は、後の国定国語読本改訂に影響を与えた。

算 数…1年生の段階で、形式算に入る前に、生活の間に自然数の発達を図る方法を研究した。

理 科…自然科を1年から始め、4年以上の理科を、科学的系統的に位置づけた。

地 歴…地歴の合科教育は4年から始め、のちに郷土教育と結び、生活科となり、また、社会科の先駆をなした。

(中・女) 総合数学…算数・代数・幾何を分科にせず、1本にしての数学として実施。

生物科…動植物を1本にして、生物科として実施。

▶中期 <昭和9年前後>

創立以来10年間にわたる明星教育の成果をまとめ、学園教育の全貌を紹介した――。

- ▷…新読本の編纂次第とその取扱……………五十嵐重虎
- ▷…低学年における自然科の意義……………照井猪一郎
- ▷…理科教育の新しい観点……………照井猪一郎
- ▷…数学教育の諸問題……………中島昇平
- ▷…地理教育改造の要諦……………照井猪一郎
- ▷…国史教育に横たわる諸問題……………照井猪一郎
- ▷…音楽教育(感覚教育としてのリトミック)……………照井ゲン
- ▷…見学旅行・夏期生活の指導……………安藤正義
- ▷…女子教育の諸問題……………赤井米吉
- ▷…青年期の教育……………上田八一郎
- ▷…低学年の学級経営……………中村勇
- ▷…高学年の学級経営……………中島昇平
- ▷…中等部の体力測定……………前島治吉



他校参観

学内の研究体制をととのえ、研究活動をやるためにも、他校をみることの必要を高く評価した。この期間に参観した学校は、都内では光明小学校、女子学習院、女高師附属小学校、富士見小学校、清明学園、玉川学園、地方では水戸市の五軒小学校、水戸師範附属小学校である。

▶後 期 <昭和15年ごろ>

小学部では体育と科学を核とした教科課程の編成をめざし、授業の研究をこれに集中した――。

学校体操の公開授業

1年から6年までが、どのような指導体系で指導されているかの實際を、14、5、6年の3年にわたって継続公開した。

理科工作科の試み

理科教材の整理と体系化の完成(16年8月)と、理科工作科なるものを試みたが、公開授業および研究会はもたなかった。しかし、作品の展示会は開いた。

教育研究集会

父母対象の教育研究集会は、毎年4月～5月に実施された。

<戦時中の17年5月の研究会のプログラムを示す>

- ▷…時局と明星の教育……………赤 井 米 吉
- ▷…本年度の教育体系……………照 井 猪 一 郎
 - ・理科教育の實際……………橘 正 薫
 - ・国史的教材の取扱い……………照 井 猪 一 郎
 - ・地理的教材の取扱い……………原 田 満 寿 郎
 - ・集団訓練の主力点……………原 田 満 寿 郎
 - ・特設講話について……………照 井 猪 一 郎
- ▷…和音感教育の實際……………照 井 ゲ ン

▶戦後から現在

26～7年…全学園の一貫性樹立に着手し、31～2年…一貫性教育構想の上に研究と実施を始め、33～4年…研究成果を実施強化の上に移す＜4・4・4制＞35年より学園教育構造の再検討の中で、教科内容の分析、授業への集中のさせ方などの研究に入る——。

学内での授業の研究会

▷…22年～社会科の授業とその研究会

▷…23年～英語科の授業とその研究会

▷…25年～社会科研究会（1～3回）

音楽会と学校劇の会は創立当初より、毎年校内、もしくは校外で開催した。

▷…音楽／9年＜日本青年会館＞ 22年＜東京女子大講堂＞

23年＜杉並公会堂で開演＞

▷…演劇／9年＜日本青年会館＞ 11年＜蚕糸会館＞

24年＜家政学園講堂で開演＞

校内教育研究集会

▷…32年＜第1回＞研究集会

各教科の問題点を明確にし、実情報告。

▷…33年＜第2回＞研究集会

基礎学力の問題と自学的自習態度について。

▷…34年＜第3回＞研究集会

各教科別カリキュラムの編成とシステムについて。

小学校は34, 5, 6年に教科（国語・算数・美術・理科）の解説講座を開く。

公開授業と教育研究集会

▷…35年＜第1回＞公開教育研究集会…教科の現代化と、生き生きした授業の創造めざして…。

▷…36年＜第2回＞公開教育研究集会…教科でなにをどう教えるか。

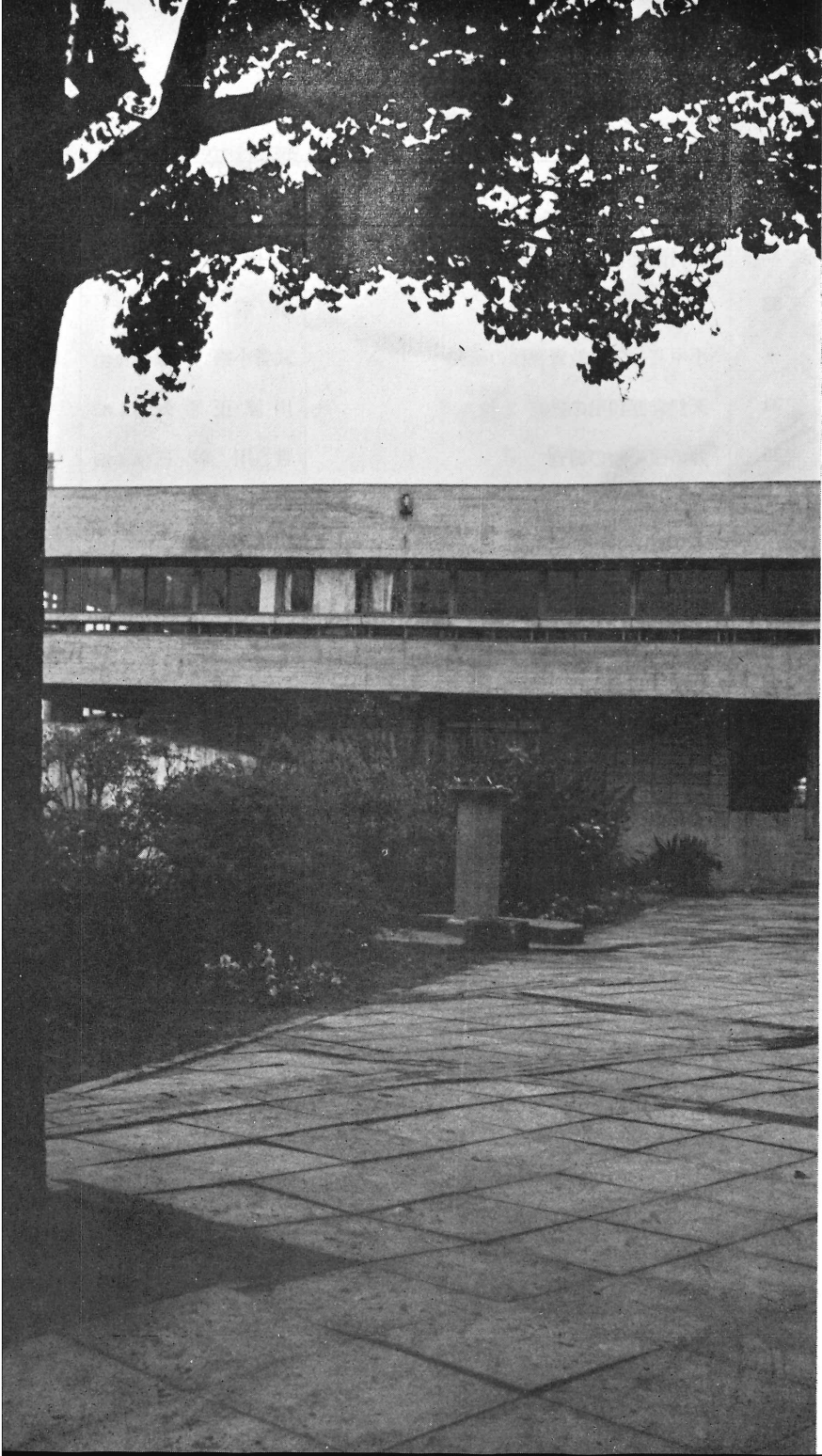
▷…37年＜第3回＞公開教育研究集会…授業で子どもをかしこくする。教科の論理と授業の論理。

研究紀要その他

年 度	研 究 印 刷 物 ・ 出 版 書 名	研 究 者 名
大正13	ドルトン案とわが国の教育 <集 成 社>	明星学園 赤 井 米 吉
14	教 師 論 <集 成 社>	// 赤 井 米 吉
15	体験の教育 <集 成 社>	// 赤 井 米 吉
//	明星学園の教育 <玉川出版>	// 赤 井 米 吉
昭和 2	図画手工の実際	// 霜 田 静 志
//	尋 3・4 教育の実際	// 山 本 徳 行
7	新しき教育計画のために <刀江書院>	// 赤 井 米 吉
8	自然科の究明 <刀江書院>	// 照 井 猪 一 郎
10	地理教育実践の進歩 <厚 生 閣>	// 原 田 満 寿 郎
13	新読本 1 巻～5 巻 <集 成 社>	// 照 井 猪 一 郎
35	一年生誕生 <凡 書 房>	明 星 学 園 小 学 校
36	明星の教育① <教育実践記録>	// 低学年部
//	明星の授業 <教科の現代化と授業の創造>	// 低・中学年部
37	// <教科で何をどう教えるか>	// //
//	明星の教育② <集団指導による生活指導>	// 高学年部
38	研究紀要 <No.1・No.2・No.2 別冊・No.3—1>	明 星 学 園
//	教材と授業 <湯力原研究集会資料>	// 低・中学年部
//	明星の授業 <国 土 社>	明 星 学 園
//	新しい理科の体系と授業法 =小学校篇=	明 星 学 園
//	研究資料 <教材体系の組織授業の構造>	// 千倉研究会
//	中学校理科の内容と展開 <資料>	// 理 科 部
//	《第 3 回》明星学園教育研究発表要項	明 星 学 園
//	理科教育の現代化	// 理科研究部
39	《第 9 回》千倉研究会研究資料	// 理科研究部
//	中学校理科の内容と展開	// 理 科 部
//	歴史教材の系統表①	// 社会科研究部
//	にほんごの本 <麦書房刊>	// 国語科研究部

■ 東京都の助成金による研究物

年 度	研 究 題 目	研 究 者 名
12	教材園として東京近郊の緑地帯の研究	原 田 満 寿 郎
33	見学行事に関する研究	小 森 憲 澄
//	小中高一貫の教育課程の研究	武者小路 穰(外70名)
34	天然資源利用の研究	川 原 正 希 知(外1名)
35	井の頭の池の調査	宮 川 幸 三(外4名)
//	社会科教育の郷土学習について	佐々木 玄 吾
36	第四紀層中に含まれる有孔化石の研究	村 崎 洋
37	関東平野の第四紀層の層序並びにこれに含まれる花粉、有孔虫、化石重鉱物に関する研究	上 田 八 郎(他2名)
//	太宰府の研究	堀 淳 二
//	第二信号系理論と国語教育	荒 川 有 史
//	高周波加熱の発展及び利用の研究	川 原 正 希 知(他1名)
38	中学、高等学校常備図書基準の研究	船 山 博 彦(他5名)
//	地学カリキュラム作製のための第四紀の研究	森 田 紀 子(他2名)
//	国語教育と英語教育	荒 川 有 史(他3名)
//	子どもの視学、空間の正しい表象と美術的表現	鈴 木 五 郎
//	現代の自然科学の観点からみた、小・中学校理科の新しい体系と教授法の研究	遠 藤 豊(他2名)
//	小学校低学年理科の内容の検討——附・学年理科の内容を言語・数量・自然に関する基礎知識という面から検討——	佐 藤 文 雄
//	文学作品による認識発達の順序——幼児から中学年までの11年間——	無 着 成 恭

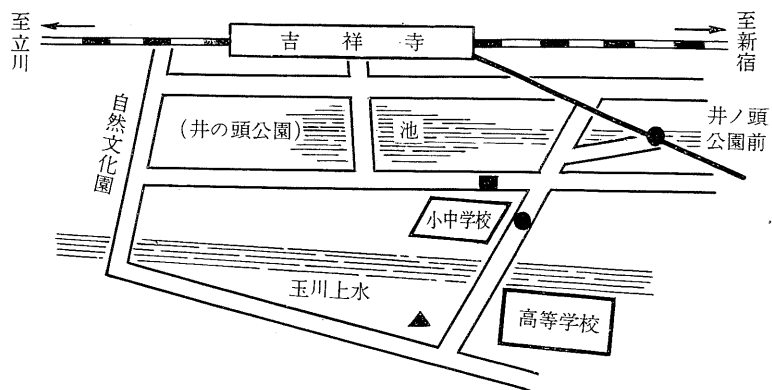
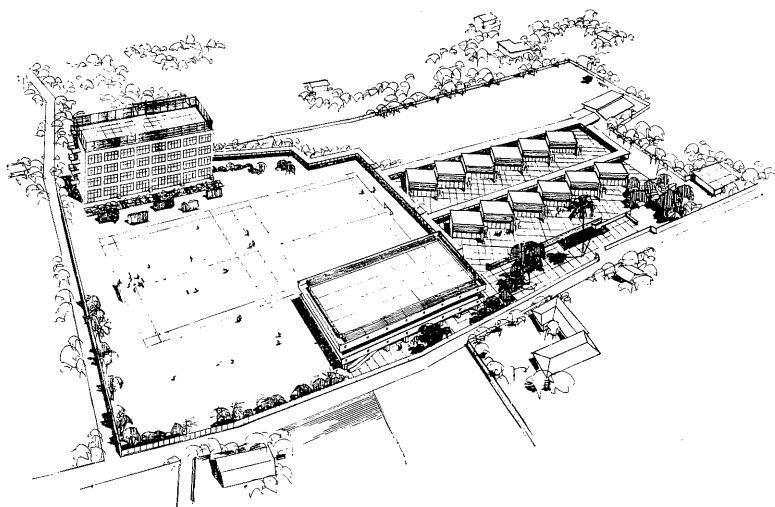


■ 振興事業経過報告

創立満30周年を期し、学園振興事業として創立以来の校舎の増改築にとりかかり、現・旧父兄、卒業生、その他の多くの方々のご協力で、今日までに次の通り校地の拡張、校舎の建設を進めてきた。

.....

工 事 計 画	年度	工 事 名	内 容	面積(m ²)	完了年月	経費(万円)	備 考
	30	校 地 拡 張	高等学校運動場	3,670	31・3	470	
	31	小 学 校 校 舎	鉄筋コンクリートブロック平家建 6 教室便所	870	31・8	1,060	中学校校舎完成直後 高校校舎とする
		中 学 校 校 舎 附 帯 工 事	木造 2 階建 9 教室、便 所、講堂移築	1,050	31・10 年度内完了	1,090 150	
	32	高等学校校舎 附 帯 工 事	木造 2 階建 9 教室、便 所、運動場整備	980	32・6 年度内完了	1,210 200	
	33	校 地 拡 張	高等学校運動場	495	33・6	130	
		小 学 校 校 舎	鉄筋コンクリートブロック平屋建 6 教室	750	33・10	890	
	34	小学校附帯工事	校門、前庭、塀その他		34・9	200	
	36	小・中 校 特別教室	鉄筋コンクリート 2 階 建、7 教室及び管理部 門、運動場整地	1,175	36・1 年度内完了	2,700 150	中学校校舎完成まで 普通教室
		附 帯 工 事					
37		校 地 拡 張	小中学校運動場	2,640	37・12	2,500	
		//	中学校校舎敷地	1,451		3,450	
		高等学校体育館	鉄筋コンクリート 2 階 建	1,400	37・10	3,000	
		特 別 教 室					
38		中 学 校 校 舎	鉄筋コンクリート 4 階 建、16教室	1,600	建築中	2,900	
39		// 附帯工事				1,200	
		事 務 費				700	
		計				18,639	



明星学園の歌

—北原白秋・作—

黎明

霜に光る明星
池は近くふかき木立
我等学ぶ このみなかみ
さながら
清らなり 常に行う
めざめ 若きたましい
ひびけ 空とつちの声々
明星 明星
明星学園

残照

既に光る明星
雲はなびき広き武蔵
我等つどうこの師のもと
さちあれ
朗らなり 常に磨けり
おもえ 遠きかがやき
はなて 目をば富士のあなたへ
明星 明星
明星学園

明星學園